

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／その他資産	
信託期間	約5年間（2014年10月21日～2019年10月18日）	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	米ドルコース	イ. ケイマン籍の外国投資信託「CBREクラリオン・トラスト・ダイワ／クラリオン・アメリカンMLPファンド（ノンヘッジクラス）」（以下「アメリカンMLPファンド（ノンヘッジクラス）」といいます。）の受益証券（円建） ロ. ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券
	日本円コース	イ. ケイマン籍の外国投資信託「CBREクラリオン・トラスト・ダイワ／クラリオン・アメリカンMLPファンド（円ヘッジクラス）」（以下「アメリカンMLPファンド（円ヘッジクラス）」といいます。）の受益証券（円建） ロ. ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券
	通貨αコース	イ. ケイマン籍の外国投資信託「CBREクラリオン・トラスト・ダイワ／クラリオン・アメリカンMLPファンド（通貨αクラス）」（以下「アメリカンMLPファンド（通貨αクラス）」といいます。）の受益証券（円建） ロ. ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券
運用方法	米ドルコース	①主として、アメリカンMLPファンド（ノンヘッジクラス）の受益証券を通じて、エネルギーや天然資源等に関連する米国のMLP（マスター・リミテッド・パートナーシップ）等へ投資し、信託財産の成長をめざして運用を行ないません。 ②当ファンドは、アメリカンMLPファンド（ノンヘッジクラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。通常の状態、アメリカンMLPファンド（ノンヘッジクラス）の投資割合を高位に維持することを基本とします。 ③アメリカンMLPファンド（ノンヘッジクラス）では、為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。
	日本円コース	①主として、アメリカンMLPファンド（円ヘッジクラス）の受益証券を通じて、エネルギーや天然資源等に関連する米国のMLP（マスター・リミテッド・パートナーシップ）等へ投資し、信託財産の成長をめざして運用を行ないません。 ②当ファンドは、アメリカンMLPファンド（円ヘッジクラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。通常の状態、アメリカンMLPファンド（円ヘッジクラス）の投資割合を高位に維持することを基本とします。 ③アメリカンMLPファンド（円ヘッジクラス）では、為替変動リスクを低減するため為替ヘッジを行ないません。
	通貨αコース	①主として、アメリカンMLPファンド（通貨αクラス）の受益証券を通じて、エネルギーや天然資源等に関連する米国のMLP（マスター・リミテッド・パートナーシップ）等へ投資するとともに、通貨のオプション取引を組み合わせた通貨力パードコール戦略を構築し、高水準のインカム性収益の確保と信託財産の成長をめざします。 ②当ファンドは、アメリカンMLPファンド（通貨αクラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。通常の状態、アメリカンMLPファンド（通貨αクラス）の投資割合を高位に維持することを基本とします。 ③アメリカンMLPファンド（通貨αクラス）では、為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。
組入制限	投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みません。）等とし、原則として、継続的な分配を行なうことを目標に、基準価額の水準を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。	

ダイワ米国MLPファンド（毎月分配型）

米ドルコース
日本円コース
通貨αコース

運用報告書（全体版）

第5期（決算日 2015年5月20日）
第6期（決算日 2015年6月22日）
第7期（決算日 2015年7月21日）
第8期（決算日 2015年8月20日）
第9期（決算日 2015年9月24日）
第10期（決算日 2015年10月20日）

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「ダイワ米国MLPファンド（毎月分配型）」は、このたび、第10期の決算を行ないました。

ここに、第5期～第10期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

お問い合わせ先（コールセンター）

TEL 0120-106212

（営業日の9:00～17:00）

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

<5643>

<5644>

<5645>

★米ドルコース

設定以来の運用実績

決算期	基準価額			アレリアンMLP指数 (円換算)		公社債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
1 期末 (2015年 1 月20日)	9,263	30	△ 7.1	9,757	△ 2.4	0.1	98.3	19,682
2 期末 (2015年 2 月20日)	9,889	30	7.1	10,230	4.8	0.0	99.1	21,279
3 期末 (2015年 3 月20日)	9,488	30	△ 3.8	9,771	△ 4.5	0.0	98.9	20,673
4 期末 (2015年 4 月20日)	9,699	30	2.5	10,090	3.3	0.0	99.0	21,212
5 期末 (2015年 5 月20日)	10,125	30	4.7	10,455	3.6	0.0	98.7	22,091
6 期末 (2015年 6 月22日)	9,833	30	△ 2.6	9,875	△ 5.5	0.0	99.0	20,869
7 期末 (2015年 7 月21日)	9,239	30	△ 5.7	9,187	△ 7.0	0.0	99.0	19,449
8 期末 (2015年 8 月20日)	8,501	30	△ 7.7	8,772	△ 4.5	0.1	98.7	17,753
9 期末 (2015年 9 月24日)	7,552	30	△ 10.8	7,577	△ 13.6	0.0	99.1	15,474
10 期末 (2015年10月20日)	7,443	30	△ 1.0	8,029	6.0	0.1	99.3	14,921

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) アレリアンMLP指数（円換算）は、Alerian MLP Total Return Index（米ドルベース）をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。Alerian MLP Total Return IndexはGKD Index Partners LLC d/b/a Alerianが算出しており、その商標を有しています。

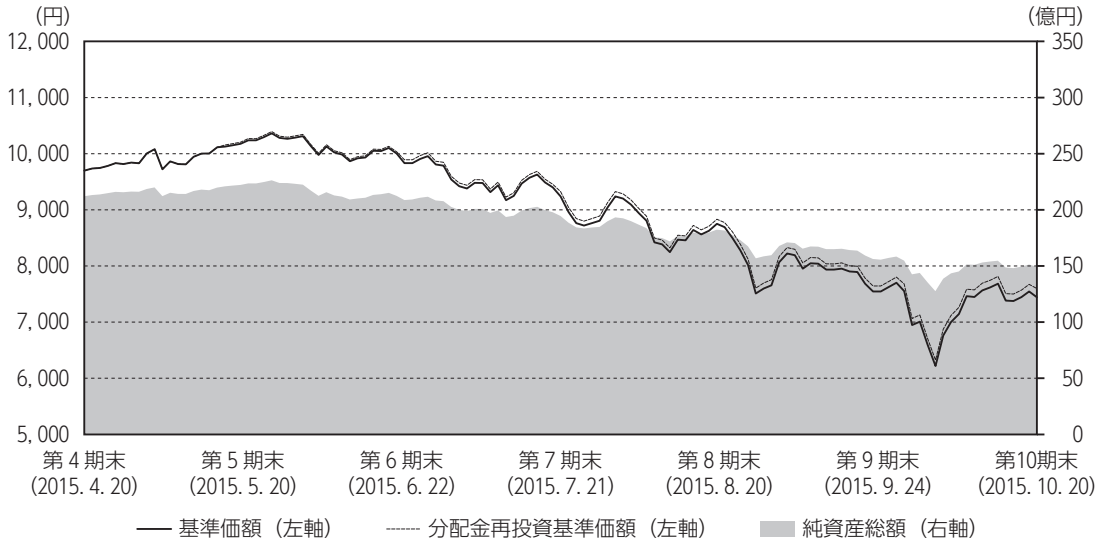
(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注5) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

《運用経過》

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまが利用するコースにより異なります。また、分配金の課税条件は、ファンドの購入価額により異なります。

■基準価額・騰落率

第5期首：9,699円

第10期末：7,443円（既払分配金180円）

騰落率：△21.7%（分配金再投資ベース）

■基準価額の主な変動要因

原油価格の急落等を受けてMLP（エネルギー関連事業等を収益源とする共同投資事業形態）市況が下落したことなどがマイナス要因となり、基準価額は値下がりました。

ダイワ米国MLPファンド（毎月分配型） 米ドルコース

	年 月 日	基 準 価 額		アレリアンMLP指数 (円換算)		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
		円	%	(参考指数)	騰 落 率		
第5期	(期首)2015年4月20日	9,699	—	10,090	—	0.0	99.0
	4月末	9,829	1.3	10,291	2.0	0.0	98.3
	(期末)2015年5月20日	10,155	4.7	10,455	3.6	0.0	98.7
第6期	(期首)2015年5月20日	10,125	—	10,455	—	0.0	98.7
	5月末	10,281	1.5	10,441	△ 0.1	0.0	98.9
	(期末)2015年6月22日	9,863	△ 2.6	9,875	△ 5.5	0.0	99.0
第7期	(期首)2015年6月22日	9,833	—	9,875	—	0.0	99.0
	6月末	9,540	△ 3.0	9,509	△ 3.7	0.0	99.0
	(期末)2015年7月21日	9,269	△ 5.7	9,187	△ 7.0	0.0	99.0
第8期	(期首)2015年7月21日	9,239	—	9,187	—	0.0	99.0
	7月末	9,200	△ 0.4	9,357	1.8	0.0	99.1
	(期末)2015年8月20日	8,531	△ 7.7	8,772	△ 4.5	0.1	98.7
第9期	(期首)2015年8月20日	8,501	—	8,772	—	0.1	98.7
	8月末	8,222	△ 3.3	8,634	△ 1.6	0.1	99.3
	(期末)2015年9月24日	7,582	△ 10.8	7,577	△ 13.6	0.0	99.1
第10期	(期首)2015年9月24日	7,552	—	7,577	—	0.0	99.1
	9月末	6,218	△ 17.7	6,622	△ 12.6	0.1	98.8
	(期末)2015年10月20日	7,473	△ 1.0	8,029	6.0	0.1	99.3

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

○MLP市況

MLP市況は、原油価格の急落等を背景に下落しました。

第5期首より、好決算等に支えられMLP市況は底堅く始まりましたが、OPEC（石油輸出国機構）の生産目標維持、イランに対する経済制裁解除による今後の原油輸出拡大懸念、米国における原油在庫の積み上がりなど原油需給緩和の状況が継続したことで原油価格が下落し、MLP市況も2015年7月にかけて下落基調となりました。川中事業を営むMLP（以下、川中MLP）は原油価格変動の直接的な影響を比較的受けにくい収益構造ではあるものの、原油価格急落を背景にMLPを含むエネルギー株式全体に対する市場心理は悪化しました。MLPに対する投資家心理が弱含む中で、増資に伴い需給バランスが緩んだことや中国景気減速懸念を背景とした世界的なリスクオフの流れを受けて、個人投資家やヘッジファンドの売りが加速し、9月末にかけて大幅に下落しました。第10期末にかけては、売られ過ぎの状況から値下がり幅を縮小する展開となりました。

（※）MLPは、米国で行なわれている共同投資事業形態のひとつであり、その出資持分が米国の金融商品取引所等で取引されています。

○為替相場

ボックス圏での推移となりました。

F RB（米国連邦準備制度理事会）議長が2015年内での利上げを示唆したことを受けて、米ドル円為替相場は6月上旬にかけて円安米ドル高が進行しましたが、8月下旬にかけては、人民元切下げをきっかけとした中国経済の減速懸念を受けて投資家のリスク回避姿勢が強まり、円高米ドル安が進行しました。第10期末にかけては、米国と日本の金融政策などを見極める動きが強く、ボックス圏での推移となりました。

前作成期間末における「今後の運用方針」

○当ファンド

CBREクラリオン・トラストーダイワ／クラリオン・アメリカンMLPファンド（ノンヘッジクラス）（以下、「アメリカンMLPファンド（ノンヘッジクラス）」といいます。）の受益証券の組入比率を、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。

○アメリカンMLPファンド（ノンヘッジクラス）

当ファンドでは、マクロ経済、エネルギー需要、地域別、業種別の動向を分析するトップダウン・アプローチと、個別銘柄の配当の安定性や成長性、経営陣の質、バリュエーションなどに焦点を当て

ダイワ米国MLPファンド（毎月分配型） 米ドルコース

分析するボトムアップ・アプローチを組合わせて、ポートフォリオを構築します。当面は、天然ガスパイプラインや輸出関連施設の開発、透明性の高い開発プロジェクトを有する原油・精製品パイプラインなどの開発の投資機会を有する川中MLPに注目していきます。

○ダイワ・マネー・マザーファンド

資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行ないます。

ポートフォリオについて

○当ファンド

当ファンドは、アメリカンMLPファンド（ノンヘッジクラス）の受益証券とダイワ・マネー・マザーファンドへ投資するファンド・オブ・ファンズです。当作成期間はアメリカンMLPファンド（ノンヘッジクラス）の受益証券を高位に組み入れました。

○アメリカンMLPファンド（ノンヘッジクラス）

当ファンドは、マクロ経済、エネルギー需要、地域別、業種別の動向を分析するトップダウン・アプローチと、個別銘柄の配当の安定性や成長性、経営陣の質、バリュエーション等に焦点を当て分析するボトムアップ・アプローチを組合わせて、ポートフォリオを構築しました。

セクターについては、エネルギー商品価格変動の影響を比較的受けにくいパイプラインや貯蔵施設などの川中MLPで構成しています。川中MLPにおいては、地域、エネルギー種別（天然ガス、原油、石油精製品、天然ガス液関連施設）、川中事業の中における役割（集積・処理、輸送、貯蔵）に幅広く分散投資を行ないました。

当期間中においては、原油価格の急落を受け、集積・処理セクターや値動きの激しいジェネラル・パートナーの比率を引下げました。一方で、パイプライン・貯蔵・処理、天然ガスパイプライン・貯蔵、原油・精製品パイプライン・貯蔵セクターのほか、バリュエーションが魅力的な大型MLPの比率を上げました。

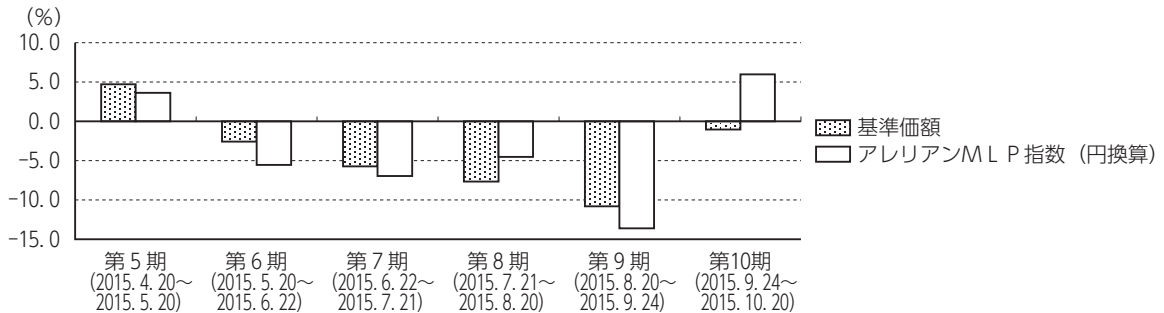
○ダイワ・マネー・マザーファンド

資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行ないました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。当ファンドは、参考指数と比較してパイプライン・貯蔵・処理の組入比率が低く、天然ガスパイプライン・貯蔵や原油・精製パイプライン・貯蔵の組入比率が高いという特徴があります。参考指数はMLP市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。



分配金について

第5期から第10期の1万口当り分配金（税込み）はそれぞれ30円といたしました。

収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第5期	第6期	第7期	第8期	第9期	第10期
	2015年4月21日 ～2015年5月20日	2015年5月21日 ～2015年6月22日	2015年6月23日 ～2015年7月21日	2015年7月22日 ～2015年8月20日	2015年8月21日 ～2015年9月24日	2015年9月25日 ～2015年10月20日
当期分配金（税込み）（円）	30	30	30	30	30	30
対基準価額比率（%）	0.30	0.30	0.32	0.35	0.40	0.40
当期の収益（円）	30	30	30	30	30	30
当期の収益以外（円）	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額（円）	226	211	232	254	275	299

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第5期	第6期	第7期	第8期	第9期	第10期
(a) 経費控除後の配当等収益	58.62円	48.05円	50.93円	51.07円	51.29円	54.53円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	50.46	20.15	20.97	23.14	23.57	24.03
(d) 分配準備積立金	147.23	173.44	190.71	209.84	230.49	251.33
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	256.31	241.65	262.62	284.06	305.36	329.90
(f) 分配金	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	226.31	211.65	232.62	254.06	275.36	299.90

(注) 下線を付した該当項目から分配金を計上しています。

《今後の運用方針》

○当ファンド

アメリカンMLPファンド（ノンヘッジクラス）の受益証券の組入比率を、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。

○アメリカンMLPファンド（ノンヘッジクラス）

当ファンドでは、マクロ経済、エネルギー需要、地域別、業種別の動向を分析するトップダウン・アプローチと、個別銘柄の配当の安定性や成長性、経営陣の質、バリュエーションなどに焦点を当て分析するボトムアップ・アプローチを組合わせて、ポートフォリオを構築します。当面は、天然ガスパイプライン、貯蔵や輸出関連施設の開発、透明性の高い開発プロジェクトを有する原油・精製品パイプライン、貯蔵などの開発の投資機会を有する川中MLPに注目していきます。ポートフォリオは、生産性の高い地域における施設、優れた経営陣やスポンサー、潤沢な配当原資や負債比率の比較的低い良好な財務体質を持つ銘柄や、配当成長性がありながらも、魅力的なバリュエーションで取引されている銘柄に焦点を当てます。また、M&A（企業の合併・買収）の買い手やターゲットになり得るMLPにも注目します。

○ダイワ・マネー・マザーファンド

資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行ないます。

1 万口当りの費用の明細

項 目	第 5 期～第10期		項 目 の 概 要
	(2015. 4. 21～2015. 10. 20)		
	金 額	比 率	
信託報酬	56円	0. 635%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は8, 889円です。
（投信会社）	(19)	(0. 216)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
（販売会社）	(36)	(0. 406)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託銀行）	(1)	(0. 013)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	0	0. 004	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（監査費用）	(0)	(0. 004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	57	0. 639	

(注 1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注 2) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注 3) 比率欄は 1 万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

(2015年4月21日から2015年10月20日まで)

決算期	第5期～第10期			
	買付		売付	
	口数	金額	口数	金額
外国 (邦貨建)	千口	千円	千口	千円
	10,845.925	935,320	24,925.597	2,155,000

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。

(注2) 金額は受渡し代金。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
投資信託受益証券

(2015年4月21日から2015年10月20日まで)

第5期～第10期				第10期			
買付		平均単価		売付		平均単価	
銘柄	口数	金額	平均単価	銘柄	口数	金額	平均単価
AMERICAN MLP FUND NON HEDGED CLASS (ケイマン諸島)	千口	千円	円	AMERICAN MLP FUND NON HEDGED CLASS (ケイマン諸島)	千口	千円	円
	1,844.199	170,000	92		24,925.597	2,155,000	86

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

(1) 当ファンドにおける当作成期間中の利害関係人との取引状況

当作成期間（第5期～第10期）中における利害関係人との取引はありません。

(3) 当作成期間中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当作成期間（第5期～第10期）中における売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

(2) ダイワ・マネー・マザーファンドにおける当作成期間中の利害関係人との取引状況

(2015年4月21日から2015年10月20日まで)

決算期	第5期～第10期					
	買付額等 A	うち利害 関係人との 取引状況 B	B/A	売付額等 C	うち利害 関係人との 取引状況 D	D/C
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
公社債	50,273	7,099	14.1	—	—	—
コール・ローン	1,437,557	—	—	—	—	—

(注) 平均保有割合0.1%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ペーパーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当作成期間における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券です。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第 10 期 末		
	口 数	評価額	比 率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) AMERICAN MLP FUND NON HEDGED CLASS	205,485.627	14,809,554	99.3

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2015年10月20日現在

項 目	第 10 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	14,809,554	98.6
ダイワ・マネー・マザーファンド	14,002	0.1
コール・ローン等、その他	191,149	1.3
投資信託財産総額	15,014,706	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第 4 期 末	第 10 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネー・マザーファンド	13,732	13,732	14,002

(注) 単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2015年5月20日)、(2015年6月22日)、(2015年7月21日)、(2015年8月20日)、(2015年9月24日)、(2015年10月20日) 現在

項 目	第 5 期 末	第 6 期 末	第 7 期 末	第 8 期 末	第 9 期 末	第 10 期 末
(A) 資産	22,256,150,741円	21,080,922,411円	19,537,771,196円	17,846,640,344円	15,739,045,055円	15,014,706,959円
コール・ローン等	438,329,002	321,928,809	273,926,737	305,931,825	224,745,165	191,149,588
投資信託受益証券 (評価額)	21,803,818,993	20,664,990,856	19,249,841,713	17,526,705,773	15,340,297,145	14,809,554,625
ダイワ・マネー・マザーファンド (評価額)	14,002,746	14,002,746	14,002,746	14,002,746	14,002,746	14,002,746
未収入金	—	80,000,000	—	—	159,999,999	—
(B) 負債	164,717,587	211,279,712	87,818,299	92,777,933	264,803,226	93,599,437
未払金	—	40,000,000	—	—	80,000,000	—
未払収益分配金	65,458,029	63,674,661	63,156,253	62,650,613	61,469,341	60,144,558
未払解約金	76,628,839	82,432,392	3,956,731	10,533,491	102,724,277	19,426,015
未払信託報酬	22,487,196	24,870,400	20,273,665	19,040,658	19,929,241	13,263,846
その他未払費用	143,523	302,259	431,650	553,171	680,367	765,018
(C) 純資産総額 (A - B)	22,091,433,154	20,869,642,699	19,449,952,897	17,753,862,411	15,474,241,829	14,921,107,522
元本	21,819,343,271	21,224,887,157	21,052,084,477	20,883,537,687	20,489,780,399	20,048,186,161
次期繰越損益金	272,089,883	△ 355,244,458	△ 1,602,131,580	△ 3,129,675,276	△ 5,015,538,570	△ 5,127,078,639
(D) 受益権総口数	21,819,343,271口	21,224,887,157口	21,052,084,477口	20,883,537,687口	20,489,780,399口	20,048,186,161口
1万口当り基準価額 (C/D)	10,125円	9,833円	9,239円	8,501円	7,552円	7,443円

*第4期末における元本額は21,869,572,914円、当作成期間(第5期～第10期)中における追加設定元本額は919,105,241円、同解約元本額は2,740,491,994円です。

*第10期末の計算口数当りの純資産額は7,443円です。

*第10期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は5,127,078,639円です。

ダイワ米国MLPファンド（毎月分配型） 米ドルコース

■損益の状況

第5期 自 2015年4月21日 至 2015年5月20日 第7期 自 2015年6月23日 至 2015年7月21日 第9期 自 2015年8月21日 至 2015年9月24日
 第6期 自 2015年5月21日 至 2015年6月22日 第8期 自 2015年7月22日 至 2015年8月20日 第10期 自 2015年9月25日 至 2015年10月20日

項 目	第5期	第6期	第7期	第8期	第9期	第10期
(A) 配当等収益	130,838,982円	127,032,644円	127,631,884円	125,815,641円	125,163,088円	122,688,996円
受取配当金	130,827,552	127,016,110	127,621,396	125,805,297	125,153,042	122,682,185
受取利息	11,430	16,534	10,488	10,344	10,046	6,811
(B) 有価証券売買損益	879,762,286	△ 657,927,463	△ 1,293,349,934	△ 1,574,611,543	△ 1,987,782,832	△ 268,242,719
売買益	884,925,077	10,027,425	10,437,268	14,760,657	35,063,894	16,464,998
売買損	△ 5,162,791	△ 667,954,888	△ 1,303,787,202	△ 1,589,372,200	△ 2,022,846,726	△ 284,707,717
(C) 信託報酬等	△ 22,630,719	△ 25,029,136	△ 20,403,056	△ 19,162,179	△ 20,056,437	△ 13,348,497
(D) 当期損益金 (A + B + C)	987,970,549	△ 555,923,955	△ 1,186,121,106	△ 1,467,958,081	△ 1,882,676,181	△ 158,902,220
(E) 前期繰越損益金	△ 760,536,317	△ 155,403,334	△ 458,517,063	△ 1,679,745,590	△ 3,144,021,077	△ 4,969,403,976
(F) 追加信託差損益金	110,113,680	108,950,824	105,662,842	80,679,008	72,628,029	61,372,115
(配当等相当額)	(37,813,232)	(42,787,920)	(44,165,553)	(48,330,248)	(48,300,393)	(48,190,038)
(売買損益相当額)	(72,300,448)	(66,162,904)	(61,497,289)	(32,348,760)	(24,327,636)	(13,182,077)
(G) 合計 (D + E + F)	337,547,912	△ 291,569,797	△ 1,538,975,327	△ 3,067,024,663	△ 4,954,069,229	△ 5,066,934,081
(H) 収益分配金	△ 65,458,029	△ 63,674,661	△ 63,156,253	△ 62,650,613	△ 61,469,341	△ 60,144,558
次期繰越損益金 (G + H)	272,089,883	△ 355,244,458	△ 1,602,131,580	△ 3,129,675,276	△ 5,015,538,570	△ 5,127,078,639
追加信託差損益金	110,113,680	108,950,824	105,662,842	80,679,008	72,628,029	61,372,115
(配当等相当額)	(37,813,232)	(42,787,920)	(44,165,553)	(48,330,248)	(48,300,393)	(48,190,038)
(売買損益相当額)	(72,300,448)	(66,162,904)	(61,497,289)	(32,348,760)	(24,327,636)	(13,182,077)
分配準備積立金	383,698,029	406,457,066	445,557,981	482,243,247	515,916,583	553,070,904
繰越損益金	△ 221,721,826	△ 870,652,348	△ 2,153,352,403	△ 3,692,597,531	△ 5,604,083,182	△ 5,741,521,658

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程（総額）」の表を参照。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第5期	第6期	第7期	第8期	第9期	第10期
(a) 経費控除後の配当等収益	127,908,626円	102,003,870円	107,229,110円	106,653,728円	105,106,917円	109,340,860円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	110,113,680	42,787,920	44,165,553	48,330,248	48,300,393	48,190,038
(d) 分配準備積立金	321,247,432	368,127,857	401,485,124	438,240,132	472,279,007	503,874,602
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	559,269,738	512,919,647	552,879,787	593,224,108	625,686,317	661,405,500
(f) 分配金	65,458,029	63,674,661	63,156,253	62,650,613	61,469,341	60,144,558
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	493,811,709	449,244,986	489,723,534	530,573,495	564,216,976	601,260,942
(h) 受益権総口数	21,819,343,271口	21,224,887,157口	21,052,084,477口	20,883,537,687口	20,489,780,399口	20,048,186,161口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1 万口当り分配金	第 5 期	第 6 期	第 7 期	第 8 期	第 9 期	第 10 期
		30円	30円	30円	30円	30円
(単 価)	(10, 125円)	(9, 833円)	(9, 239円)	(8, 501円)	(7, 552円)	(7, 443円)

- 〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、上記()内の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

《訂正のお知らせ》

作成対象期間の末日が2015年4月20日の交付運用報告書および運用報告書（全体版）につきまして、「1万口当りの費用の明細」の表の「項目の概要」における次の記載にて下線部が不要でした。お詫び申し上げますとともに、下線部を除いてお読み替えますようお願い申し上げます。

〔期中の平均基準価額（月末値の平均値）は9,766円です。〕

★日本円コース

設定以来の運用実績

決算期	基準価額			アレリアンMLP指数 (米ドルベース)		公社債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
1 期末 (2015年 1 月20日)	8,412	30	△ 15.6	8,843	△ 11.6	0.1	98.7	4,646
2 期末 (2015年 2 月20日)	8,876	30	5.9	9,178	3.8	0.0	98.0	4,886
3 期末 (2015年 3 月20日)	8,368	30	△ 5.4	8,646	△ 5.8	0.1	98.9	4,470
4 期末 (2015年 4 月20日)	8,678	30	4.1	9,064	4.8	0.0	97.9	4,624
5 期末 (2015年 5 月20日)	8,930	30	3.2	9,237	1.9	0.0	99.1	4,663
6 期末 (2015年 6 月22日)	8,520	30	△ 4.3	8,600	△ 6.9	0.0	98.9	4,397
7 期末 (2015年 7 月21日)	7,924	30	△ 6.6	7,893	△ 8.2	0.1	99.0	4,072
8 期末 (2015年 8 月20日)	7,263	30	△ 8.0	7,569	△ 4.1	0.1	98.9	3,717
9 期末 (2015年 9 月24日)	6,697	30	△ 7.4	6,735	△ 11.0	0.1	99.0	3,333
10 期末 (2015年10月20日)	6,614	30	△ 0.8	7,177	6.6	0.1	99.1	3,191

(注 1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注 2) アレリアンMLP指数（米ドルベース）は、Alerian MLP Total Return Index（米ドルベース）をもとに、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。Alerian MLP Total Return IndexはGKD Index Partners LLC d/b/a Alerianが算出しており、その商標を有しています。

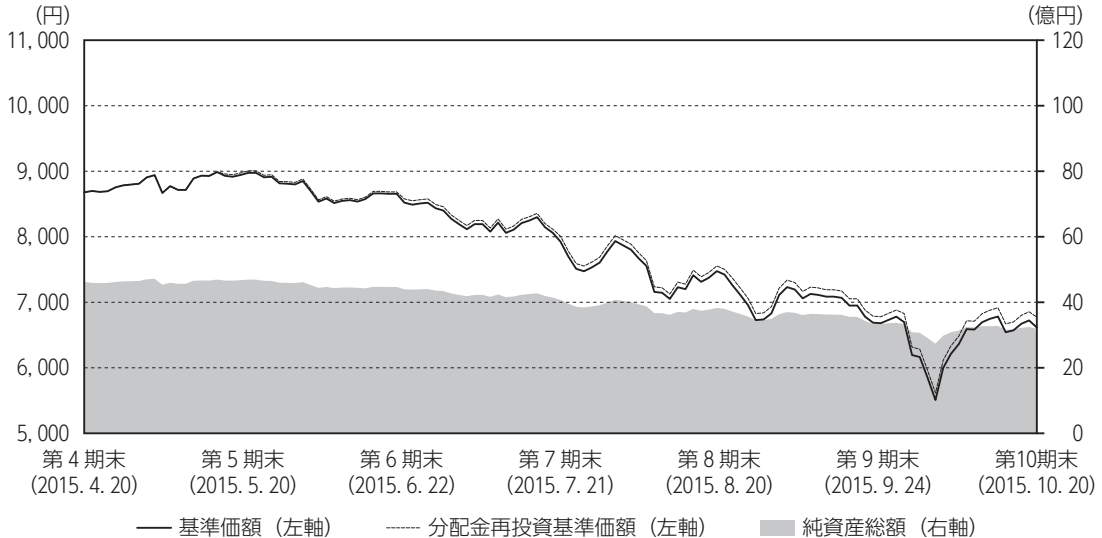
(注 3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注 4) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注 5) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

《運用経過》

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまが利用するコースにより異なります。また、分配金の課税条件は、ファンドの購入価額により異なります。

■基準価額・騰落率

第5期首：8,678円

第10期末：6,614円（既払分配金180円）

騰落率：△22.0%（分配金再投資ベース）

■基準価額の主な変動要因

原油価格の急落等を受けてMLP（エネルギー関連事業等を収益源とする共同投資事業形態）市況が下落したことなどがマイナス要因となり、基準価額は値下がりました。

ダイワ米国MLPファンド（毎月分配型） 日本円コース

	年 月 日	基 準 価 額		アレリアンMLP指数 (米ドルベース)		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
		円	騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
第5期	(期首)2015年4月20日	8,678	—	9,064	—	0.0	97.9
	4月末	8,809	1.5	9,240	1.9	0.1	98.9
	(期末)2015年5月20日	8,960	3.2	9,237	1.9	0.0	99.1
第6期	(期首)2015年5月20日	8,930	—	9,237	—	0.0	99.1
	5月末	8,815	△ 1.3	9,017	△ 2.4	0.1	99.0
	(期末)2015年6月22日	8,550	△ 4.3	8,600	△ 6.9	0.0	98.9
第7期	(期首)2015年6月22日	8,520	—	8,600	—	0.0	98.9
	6月末	8,274	△ 2.9	8,297	△ 3.5	0.0	99.0
	(期末)2015年7月21日	7,954	△ 6.6	7,893	△ 8.2	0.1	99.0
第8期	(期首)2015年7月21日	7,924	—	7,893	—	0.1	99.0
	7月末	7,868	△ 0.7	8,060	2.1	0.1	99.1
	(期末)2015年8月20日	7,293	△ 8.0	7,569	△ 4.1	0.1	98.9
第9期	(期首)2015年8月20日	7,263	—	7,569	—	0.1	98.9
	8月末	7,231	△ 0.4	7,613	0.6	0.1	99.1
	(期末)2015年9月24日	6,727	△ 7.4	6,735	△ 11.0	0.1	99.0
第10期	(期首)2015年9月24日	6,697	—	6,735	—	0.1	99.0
	9月末	5,508	△ 17.8	5,898	△ 12.4	0.1	99.1
	(期末)2015年10月20日	6,644	△ 0.8	7,177	6.6	0.1	99.1

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

○MLP市況

MLP市況は、原油価格の急落等を背景に下落しました。

第5期首より、好決算等に支えられMLP市況は底堅く始まりましたが、OPEC（石油輸出国機構）の生産目標維持、イランに対する経済制裁解除による今後の原油輸出拡大懸念、米国における原油在庫の積み上がりなど原油需給緩和の状況が継続したことで原油価格が下落し、MLP市況も2015年7月にかけて下落基調となりました。川中事業を営むMLP（以下、川中MLP）は原油価格変動の直接的な影響を比較的受けにくい収益構造ではあるものの、原油価格急落を背景にMLPを含むエネルギー株式全体に対する市場心理は悪化しました。MLPに対する投資家心理が弱含む中で、増資に伴い需給バランスが緩んだことや中国景気減速懸念を背景とした世界的なリスクオフの流れを受けて、個人投資家やヘッジファンドの売りが加速し、9月末にかけて大幅に下落しました。第10期末にかけては、売られ過ぎの状況から値下がり幅を縮小する展開となりました。

（※）MLPは、米国で行なわれている共同投資事業形態のひとつであり、その出資持分が米国の金融商品取引所等で取引されています。

前作成期間末における「今後の運用方針」

○当ファンド

CBREクラリオン・トラストーダイワ／クラリオン・アメリカンMLPファンド（円ヘッジクラス）（以下、「アメリカンMLPファンド（円ヘッジクラス）」といいます。）の受益証券の組入比率を、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。

○アメリカンMLPファンド（円ヘッジクラス）

当ファンドでは、マクロ経済、エネルギー需要、地域別、業種別の動向を分析するトップダウン・アプローチと、個別銘柄の配当の安定性や成長性、経営陣の質、バリュエーションなどに焦点を当て分析するボトムアップ・アプローチを組み合わせ、ポートフォリオを構築します。当面は、天然ガスパイプラインや輸出関連施設の開発、透明性の高い開発プロジェクトを有する原油・精製品パイプラインなどの開発の投資機会を有する川中MLPに注目していきます。

また、為替変動リスクを低減するため為替ヘッジを行ないません。

○ダイワ・マネー・マザーファンド

資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行ないます。

ポートフォリオについて

○当ファンド

当ファンドは、アメリカンMLPファンド（円ヘッジクラス）の受益証券とダイワ・マネー・マザーファンドへ投資するファンド・オブ・ファンズです。当作成期間はアメリカンMLPファンド（円ヘッジクラス）の受益証券を高位に組入れました。

○アメリカンMLPファンド（円ヘッジクラス）

当ファンドは、マクロ経済、エネルギー需要、地域別、業種別の動向を分析するトップダウン・アプローチと、個別銘柄の配当の安定性や成長性、経営陣の質、バリュエーション等に焦点を当て分析するボトムアップ・アプローチを組合わせて、ポートフォリオを構築しました。

セクターについては、エネルギー商品価格変動の影響を比較的受けにくいパイプラインや貯蔵施設などの川中MLPで構成しています。川中MLPにおいては、地域、エネルギー種別（天然ガス、原油、石油精製品、天然ガス液関連施設）、川中事業の中における役割（集積・処理、輸送、貯蔵）に幅広く分散投資を行ないました。

当期間中においては、原油価格の急落を受け、集積・処理セクターや値動きの激しいジェネラル・パートナーの比率を引下げました。一方で、パイプライン・貯蔵・処理、天然ガスパイプライン・貯蔵、原油・精製品パイプライン・貯蔵セクターのほか、バリュエーションが魅力的な大型MLPの比率を上げました。

また、為替変動リスクを低減するため為替ヘッジを行ないました。

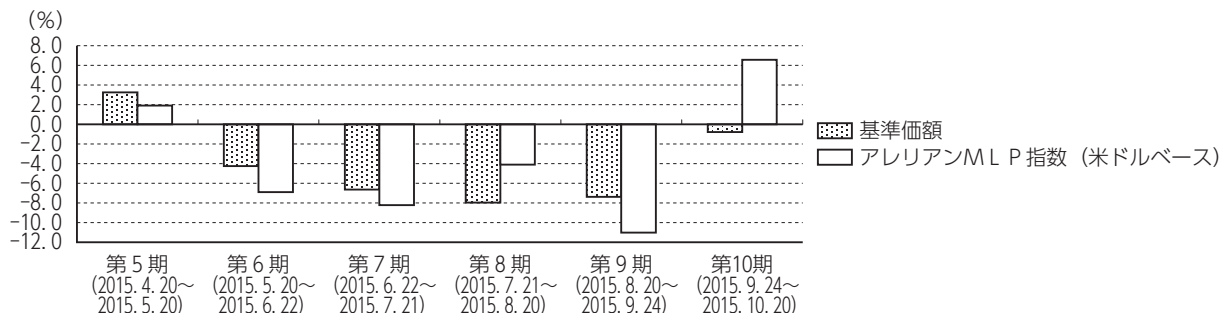
○ダイワ・マネー・マザーファンド

資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行ないました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。当ファンドは、参考指数と比較してパイプライン・貯蔵・処理の組入比率が低く、天然ガスパイプライン・貯蔵や原油・精製品パイプライン・貯蔵の組入比率が高いという特徴があります。参考指数はMLP市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。



分配金について

第5期から第10期の1万口当り分配金（税込み）はそれぞれ30円といたしました。

収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第5期	第6期	第7期	第8期	第9期	第10期
	2015年4月21日 ～2015年5月20日	2015年5月21日 ～2015年6月22日	2015年6月23日 ～2015年7月21日	2015年7月22日 ～2015年8月20日	2015年8月21日 ～2015年9月24日	2015年9月25日 ～2015年10月20日
当期分配金（税込み）（円）	30	30	30	30	30	30
対基準価額比率（%）	0.33	0.35	0.38	0.41	0.45	0.45
当期の収益（円）	30	30	30	30	30	30
当期の収益以外（円）	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額（円）	199	219	242	265	288	313

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売却等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第5期	第6期	第7期	第8期	第9期	第10期
(a) 経費控除後の配当等収益	58.93円	50.47円	52.46円	53.16円	52.78円	55.70円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	6.64	7.12	7.47	7.77	8.51	8.88
(d) 分配準備積立金	163.59	192.07	212.21	234.38	256.87	279.29
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	229.18	249.68	272.15	295.31	318.17	343.88
(f) 分配金	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	199.18	219.68	242.15	265.31	288.17	313.88

(注) 下線を付した該当項目から分配金を計上しています。

《今後の運用方針》

○当ファンド

アメリカンMLPファンド（円ヘッジクラス）の受益証券の組入比率を、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。

○アメリカンMLPファンド（円ヘッジクラス）

当ファンドでは、マクロ経済、エネルギー需要、地域別、業種別の動向を分析するトップダウン・アプローチと、個別銘柄の配当の安定性や成長性、経営陣の質、バリュエーションなどに焦点を当て分析するボトムアップ・アプローチを組合わせて、ポートフォリオを構築します。当面は、天然ガスパイプライン、貯蔵や輸出関連施設の開発、透明性の高い開発プロジェクトを有する原油・精製品パイプライン、貯蔵などの開発の投資機会を有する川中MLPに注目していきます。ポートフォリオは、生産性の高い地域における施設、優れた経営陣やスポンサー、潤沢な配当原資や負債比率の比較的低い良好な財務体質を持つ銘柄や、配当成長性がありながらも、魅力的なバリュエーションで取引されている銘柄に焦点を当てます。また、M&A（企業の合併・買収）の買い手やターゲットになり得るMLPにも注目します。

また、為替変動リスクを低減するため為替ヘッジを行いません。

○ダイワ・マネー・マザーファンド

資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行いません。

1 万口当りの費用の明細

項 目	第 5 期～第10期		項 目 の 概 要
	(2015. 4. 21～2015. 10. 20)		
	金 額	比 率	
信託報酬	49円	0. 635%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は7,764円です。
（投信会社）	(17)	(0. 216)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
（販売会社）	(32)	(0. 406)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託銀行）	(1)	(0. 013)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	0	0. 004	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（監査費用）	(0)	(0. 004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	50	0. 639	

(注 1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注 2) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注 3) 比率欄は 1 万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

(2015年4月21日から2015年10月20日まで)

決算期	第5期～第10期			
	買付		売付	
	口数	金額	口数	金額
外国 (邦貨建)	千口	千円	千口	千円
	2,627.042	192,783	6,005.638	428,000

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。

(注2) 金額は受渡し代金。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
投資信託受益証券

(2015年4月21日から2015年10月20日まで)

銘柄	第5期～			第10期		
	買付		平均単価	売付		平均単価
	口数	金額		口数	金額	
AMERICAN MLP FUND JPY HEDGED CLASS (ケイマン諸島)	千口	千円	円	千口	千円	円
	74.231	5,000	67	6,005.638	428,000	71

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

(1) 当ファンドにおける当作成期間中の利害関係人との取引状況

当作成期間（第5期～第10期）中における利害関係人との取引はありません。

(3) 当作成期間中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当作成期間（第5期～第10期）中における売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

(2) ダイワ・マネー・マザーファンドにおける当作成期間中の利害関係人との取引状況

(2015年4月21日から2015年10月20日まで)

区分	第5期～第10期					
	買付額等 A	うち利害 関係人との 取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害 関係人との 取引状況D	D/C
公社債	百万円 50,273	百万円 7,099	% 14.1	百万円 —	百万円 —	% —
コール・ローン	1,437,557	—	—	—	—	—

(注) 平均保有割合0.0%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーフンドのマザーファンド所有口数の割合。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当作成期間における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券です。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第 10 期 末		
	□ 数	評価額	比 率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) AMERICAN MLP FUND JPY HEDGED CLASS	49,750.948	3,161,026	99.1

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。
(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2015年10月20日現在

項 目	第 10 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	3,161,026	98.5
ダイワ・マネー・マザーファンド	3,950	0.1
コール・ローン等、その他	43,755	1.4
投資信託財産総額	3,208,732	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第 4 期 末	第 10 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネー・マザーファンド	3,874	3,874	3,950

(注) 単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2015年5月20日)、(2015年6月22日)、(2015年7月21日)、(2015年8月20日)、(2015年9月24日)、(2015年10月20日) 現在

項 目	第 5 期 末	第 6 期 末	第 7 期 末	第 8 期 末	第 9 期 末	第 10 期 末
(A) 資産	4,683,830,095円	4,418,179,084円	4,101,385,960円	3,736,837,414円	3,378,887,938円	3,208,732,420円
コール・ローン等	60,470,594	65,666,587	66,134,634	56,616,306	55,559,461	43,755,627
投資信託受益証券 (評価額)	4,619,408,726	4,348,561,722	4,031,300,551	3,676,270,333	3,299,377,702	3,161,026,018
ダイワ・マネー・マザーファンド (評価額)	3,950,775	3,950,775	3,950,775	3,950,775	3,950,775	3,950,775
未収入金	—	—	—	—	20,000,000	—
(B) 負債	20,767,968	20,742,498	28,905,067	19,468,138	45,039,138	17,480,728
未払金	—	—	—	—	10,000,000	—
未払収益分配金	15,664,794	15,483,846	15,417,707	15,353,832	14,933,885	14,475,317
未払解約金	249,984	—	9,125,351	—	15,666,822	—
未払信託報酬	4,822,421	5,194,742	4,270,854	3,997,643	4,294,374	2,843,221
その他未払費用	30,769	63,910	91,155	116,663	144,057	162,190
(C) 純資産総額 (A-B)	4,663,062,127	4,397,436,586	4,072,480,893	3,717,369,276	3,333,848,800	3,191,251,692
元本	5,221,598,014	5,161,282,328	5,139,235,934	5,117,944,272	4,977,961,904	4,825,105,876
次期繰越損益金	△ 558,535,887	△ 763,845,742	△ 1,066,755,041	△ 1,400,574,996	△ 1,644,113,104	△ 1,633,854,184
(D) 受益権総口数	5,221,598,014□	5,161,282,328□	5,139,235,934□	5,117,944,272□	4,977,961,904□	4,825,105,876□
1万口当り基準価額 (C/D)	8,930円	8,520円	7,924円	7,263円	6,697円	6,614円

*第4期末における元本額は5,329,386,921円、当作成期間(第5期～第10期)中における追加設定元本額は58,115,345円、同解約元本額は562,396,390円です。

*第10期末の計算口数当りの純資産額は6,614円です。

*第10期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は1,633,854,184円です。

ダイワ米国MLPファンド（毎月分配型） 日本円コース

■損益の状況

第5期 自 2015年4月21日 至 2015年5月20日 第7期 自 2015年6月23日 至 2015年7月21日 第9期 自 2015年8月21日 至 2015年9月24日
 第6期 自 2015年5月21日 至 2015年6月22日 第8期 自 2015年7月22日 至 2015年8月20日 第10期 自 2015年9月25日 至 2015年10月20日

項 目	第5期	第6期	第7期	第8期	第9期	第10期
(A) 配当等収益	31,788,911円	31,281,255円	31,258,765円	31,231,276円	30,597,090円	29,740,760円
受取配当金	31,786,490	31,278,690	31,256,577	31,229,323	30,594,961	29,739,158
受取利息	2,421	2,565	2,188	1,953	2,129	1,602
(B) 有価証券売買損益	120,470,757	△ 222,158,955	△ 317,670,982	△ 350,040,991	△ 292,838,709	△ 52,619,020
売買益	122,159,423	2,186,234	941,372	1,276,168	7,312,245	3,987,159
売買損	△ 1,688,666	△ 224,345,189	△ 318,612,354	△ 351,317,159	△ 300,150,954	△ 56,606,179
(C) 信託報酬等	△ 4,853,190	△ 5,227,883	△ 4,298,099	△ 4,023,151	△ 4,321,768	△ 2,861,354
(D) 当期損益金 (A + B + C)	147,406,478	△ 196,105,583	△ 290,710,316	△ 322,832,866	△ 266,563,387	△ 25,739,614
(E) 前期繰越損益金	△ 597,047,244	△ 458,836,408	△ 666,478,297	△ 967,395,398	△ 1,266,575,192	△ 1,498,548,360
(F) 追加信託差損益金	△ 93,230,327	△ 93,419,905	△ 94,148,721	△ 94,992,900	△ 96,040,640	△ 95,090,893
(配当等相当額)	(3,469,746)	(3,679,559)	(3,843,323)	(3,977,470)	(4,239,285)	(4,289,454)
(売買損益相当額)	(△ 96,700,073)	(△ 97,099,464)	(△ 97,992,044)	(△ 98,970,370)	(△ 100,279,925)	(△ 99,380,347)
(G) 合計 (D + E + F)	△ 542,871,093	△ 748,361,896	△ 1,051,337,334	△ 1,385,221,164	△ 1,629,179,219	△ 1,619,378,867
(H) 収益分配金	△ 15,664,794	△ 15,483,846	△ 15,417,707	△ 15,353,832	△ 14,933,885	△ 14,475,317
次期繰越損益金 (G + H)	△ 558,535,887	△ 763,845,742	△ 1,066,755,041	△ 1,400,574,996	△ 1,644,113,104	△ 1,633,854,184
追加信託差損益金	△ 93,230,327	△ 93,419,905	△ 94,148,721	△ 94,992,900	△ 96,040,640	△ 95,090,893
(配当等相当額)	(3,469,746)	(3,679,559)	(3,843,323)	(3,977,470)	(4,239,285)	(4,289,454)
(売買損益相当額)	(△ 96,700,073)	(△ 97,099,464)	(△ 97,992,044)	(△ 98,970,370)	(△ 100,279,925)	(△ 99,380,347)
分配準備積立金	100,534,412	109,706,306	120,603,383	131,811,594	139,214,965	147,165,553
繰越損益金	△ 565,839,972	△ 780,132,143	△ 1,093,209,703	△ 1,437,393,690	△ 1,687,287,429	△ 1,685,928,844

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程（総額）」の表を参照。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第5期	第6期	第7期	第8期	第9期	第10期
(a) 経費控除後の配当等収益	30,775,650円	26,053,471円	26,960,744円	27,208,198円	26,275,395円	26,879,505円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	3,469,746	3,679,559	3,843,323	3,977,470	4,239,285	4,289,454
(d) 分配準備積立金	85,423,556	99,136,681	109,060,346	119,957,228	127,873,455	134,761,365
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	119,668,952	128,869,711	139,864,413	151,142,896	158,388,135	165,930,324
(f) 分配金	15,664,794	15,483,846	15,417,707	15,353,832	14,933,885	14,475,317
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	104,004,158	113,385,865	124,446,706	135,789,064	143,454,250	151,455,007
(h) 受益権総口数	5,221,598,014口	5,161,282,328口	5,139,235,934口	5,117,944,272口	4,977,961,904口	4,825,105,876口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1万口当り分配金	第5期	第6期	第7期	第8期	第9期	第10期
	30円	30円	30円	30円	30円	30円
(単 価)	(8,930円)	(8,520円)	(7,924円)	(7,263円)	(6,697円)	(6,614円)

- 〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、上記()内の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

《訂正のお知らせ》

作成対象期間の末日が2015年4月20日の交付運用報告書および運用報告書（全体版）につきまして、「1万口当りの費用の明細」の表の「項目の概要」における次の記載にて下線部が不要でした。お詫び申し上げますとともに、下線部を除いてお読み替えますようお願い申し上げます。

〔期中の平均基準価額（月末値の平均値）は8,793円です。〕

★通貨αコース

設定以来の運用実績

決算期	基準価額			公社債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期騰 落率			
	円	円	%	%	%	百万円
1 期末 (2015年 1 月20日)	8,877	70	△ 10.5	0.1	98.3	17,409
2 期末 (2015年 2 月20日)	9,447	70	7.2	0.0	99.1	18,874
3 期末 (2015年 3 月20日)	8,993	70	△ 4.1	0.0	98.8	18,204
4 期末 (2015年 4 月20日)	9,215	70	3.2	0.0	98.9	18,790
5 期末 (2015年 5 月20日)	9,571	70	4.6	0.0	98.9	19,734
6 期末 (2015年 6 月22日)	9,188	70	△ 3.3	0.0	98.7	18,917
7 期末 (2015年 7 月21日)	8,589	70	△ 5.8	0.1	98.9	17,475
8 期末 (2015年 8 月20日)	7,870	70	△ 7.6	0.1	98.9	15,683
9 期末 (2015年 9 月24日)	6,980	70	△ 10.4	0.1	99.0	13,816
10 期末 (2015年10月20日)	6,872	70	△ 0.5	0.1	99.2	13,446

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

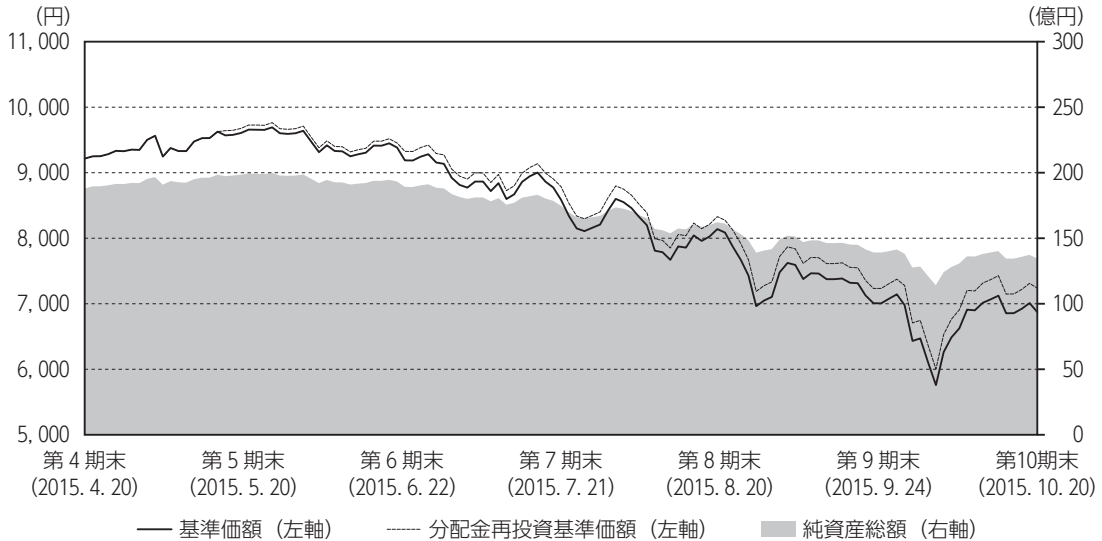
(注2) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注3) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注4) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。

《運用経過》

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまが利用するコースにより異なります。また、分配金の課税条件は、ファンドの購入価額により異なります。

■基準価額・騰落率

第5期首：9,215円

第10期末：6,872円（既払分配金420円）

騰落率：△21.4%（分配金再投資ベース）

■基準価額の主な変動要因

原油価格の急落等を受けてMLP（エネルギー関連事業等を収益源とする共同投資事業形態）市況が下落したことなどがマイナス要因となり、基準価額は値下がりました。

ダイワ米国MLPファンド（毎月分配型） 通貨αコース

	年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
		円	騰 落 率 %		
第5期	(期首)2015年4月20日	9,215	—	0.0	98.9
	4月末	9,348	1.4	0.0	98.7
	(期末)2015年5月20日	9,641	4.6	0.0	98.9
第6期	(期首)2015年5月20日	9,571	—	0.0	98.9
	5月末	9,602	0.3	0.0	99.0
	(期末)2015年6月22日	9,258	△ 3.3	0.0	98.7
第7期	(期首)2015年6月22日	9,188	—	0.0	98.7
	6月末	8,922	△ 2.9	0.0	98.7
	(期末)2015年7月21日	8,659	△ 5.8	0.1	98.9
第8期	(期首)2015年7月21日	8,589	—	0.1	98.9
	7月末	8,551	△ 0.4	0.0	99.1
	(期末)2015年8月20日	7,940	△ 7.6	0.1	98.9
第9期	(期首)2015年8月20日	7,870	—	0.1	98.9
	8月末	7,622	△ 3.2	0.1	99.1
	(期末)2015年9月24日	7,050	△ 10.4	0.1	99.0
第10期	(期首)2015年9月24日	6,980	—	0.1	99.0
	9月末	5,757	△ 17.5	0.1	98.7
	(期末)2015年10月20日	6,942	△ 0.5	0.1	99.2

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

○MLP市況

MLP市況は、原油価格の急落等を背景に下落しました。

第5期首より、好決算等に支えられMLP市況は底堅く始まりましたが、OPEC（石油輸出国機構）の生産目標維持、イランに対する経済制裁解除による今後の原油輸出拡大懸念、米国における原油在庫の積み上がりなど原油需給緩和の状況が継続したことで原油価格が下落し、MLP市況も2015年7月にかけて下落基調となりました。川中事業を営むMLP（以下、川中MLP）は原油価格変動の直接的な影響を比較的受けにくい収益構造ではあるものの、原油価格急落を背景にMLPを含むエネルギー株式全体に対する市場心理は悪化しました。MLPに対する投資家心理が弱含む中で、増資に伴い需給バランスが緩んだことや中国景気減速懸念を背景とした世界的なリスクオフの流れを受けて、個人投資家やヘッジファンドの売りが加速し、9月末にかけて大幅に下落しました。第10期末にかけては、売られ過ぎの状況から値下がり幅を縮小する展開となりました。

（※）MLPは、米国で行なわれている共同投資事業形態のひとつであり、その出資持分が米国の金融商品取引所等で取引されています。

○為替相場

ボックス圏での推移となりました。

F RB（米国連邦準備制度理事会）議長が2015年内での利上げを示唆したことを受けて、米ドル円為替相場は6月上旬にかけて円安米ドル高が進行しましたが、8月下旬にかけては、人民元切下げをきっかけとした中国経済の減速懸念を受けて投資家のリスク回避姿勢が強まり、円高米ドル安が進行しました。第10期末にかけては、米国と日本の金融政策などを見極める動きが強く、ボックス圏での推移となりました。

○通貨オプション相場

通貨オプションのボラティリティは上昇しました。

第5期首以降、米ドル円相場が大きく変動した際にボラティリティが上昇する局面はありましたが、おおむねボラティリティは横ばいでの推移となりました。しかし2015年8月後半に、世界的に株安が進み米ドル円が急落すると、ボラティリティは急上昇しました。その後、9月のFOMC（米国連邦公開市場委員会）において政策金利が据え置かれたことなどから、米ドル円の変動が落ち着き、ボラティリティの上昇幅は縮小しました。

前作成期間末における「今後の運用方針」

○当ファンド

C B R E クラリオン・トラスト・ダイワ/クラリオン・アメリカンMLPファンド（通貨αクラス）（以下、「アメリカンMLPファンド（通貨αクラス）」といいます。）の受益証券の組入比率を、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。

○アメリカンMLPファンド（通貨αクラス）

当ファンドでは、マクロ経済、エネルギー需要、地域別、業種別の動向を分析するトップダウン・アプローチと、個別銘柄の配当の安定性や成長性、経営陣の質、バリュエーションなどに焦点を当て分析するボトムアップ・アプローチを組み合わせ、ポートフォリオを構築します。当面は、天然ガスパイプラインや輸出関連施設の開発、透明性の高い開発プロジェクトを有する原油・精製品パイプラインなどの開発の投資機会を有する川中MLPに注目していきます。

円に対する米ドルのコール・オプションを売却することで、オプションのプレミアム収入の確保をめざします。また、オプションのカバー率は、保有する米ドル建資産の評価額の50%程度を維持する方針です。

○ダイワ・マネー・マザーファンド

資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行ないます。

ポートフォリオについて

○当ファンド

当ファンドは、アメリカンMLPファンド（通貨αクラス）の受益証券とダイワ・マネー・マザーファンドへ投資するファンド・オブ・ファンズです。当作成期間はアメリカンMLPファンド（通貨αクラス）の受益証券を高位に組み入れました。

○アメリカンMLPファンド（通貨αクラス）

当ファンドは、マクロ経済、エネルギー需要、地域別、業種別の動向を分析するトップダウン・アプローチと、個別銘柄の配当の安定性や成長性、経営陣の質、バリュエーション等に焦点を当て分析するボトムアップ・アプローチを組み合わせ、ポートフォリオを構築しました。

セクターについては、エネルギー商品価格変動の影響を比較的受けにくいパイプラインや貯蔵施設などの川中MLPで構成しています。川中MLPにおいては、地域、エネルギー種別（天然ガス、原

油、石油精製品、天然ガス液関連施設)、川中事業の中における役割(集積・処理、輸送、貯蔵)に幅広く分散投資を行ないました。

当期間中においては、原油価格の急落を受け、集積・処理セクターや値動きの激しいジェネラル・パートナーの比率を引下げました。一方で、パイプライン・貯蔵・処理、天然ガスパイプライン・貯蔵、原油・精製品パイプライン・貯蔵セクターのほか、バリュエーションが魅力的な大型MLPの比率を上げました。

円に対する米ドルのコール・オプションを売却することで、オプションのプレミアム収入の確保をめざしました。また、オプションのカバー率は、保有する米ドル建資産の評価額の50%程度を維持しました。

○ダイワ・マネー・マザーファンド

資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行ないました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

第5期から第10期の1万口当り分配金（税込み）はそれぞれ70円といたしました。
 収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。
 なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第5期	第6期	第7期	第8期	第9期	第10期
	2015年4月21日 ～2015年5月20日	2015年5月21日 ～2015年6月22日	2015年6月23日 ～2015年7月21日	2015年7月22日 ～2015年8月20日	2015年8月21日 ～2015年9月24日	2015年9月25日 ～2015年10月20日
当期分配金（税込み）（円）	70	70	70	70	70	70
対基準価額比率（%）	0.73	0.76	0.81	0.88	0.99	1.01
当期の収益（円）	70	70	70	70	70	70
当期の収益以外（円）	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額（円）	385	427	471	517	564	615

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第5期	第6期	第7期	第8期	第9期	第10期
(a) 経費控除後の配当等収益	118.69円	111.81円	114.72円	116.08円	116.59円	120.24円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	29.34	31.76	33.43	34.55	37.01	39.99
(d) 分配準備積立金	307.01	353.46	393.62	437.24	481.08	524.94
(e) 当期分配対象額（a + b + c + d）	455.04	497.04	541.78	587.87	634.70	685.17
(f) 分配金	70.00	70.00	70.00	70.00	70.00	70.00
(g) 翌期繰越分配対象額（e - f）	385.04	427.04	471.78	517.87	564.70	615.17

（注）下線を付した該当項目から分配金を計上しています。

《今後の運用方針》

○当ファンド

アメリカンMLPファンド（通貨αクラス）の受益証券の組入比率を、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。

○アメリカンMLPファンド（通貨αクラス）

当ファンドでは、マクロ経済、エネルギー需要、地域別、業種別の動向を分析するトップダウン・アプローチと、個別銘柄の配当の安定性や成長性、経営陣の質、バリュエーションなどに焦点を当て分析するボトムアップ・アプローチを組合わせて、ポートフォリオを構築します。当面は、天然ガスパイプライン、貯蔵や輸出関連施設の開発、透明性の高い開発プロジェクトを有する原油・精製品パイプライン、貯蔵などの開発の投資機会を有する川中MLPに注目していきます。ポートフォリオは、生産性の高い地域における施設、優れた経営陣やスポンサー、潤沢な配当原資や負債比率の比較的低い良好な財務体質を持つ銘柄や、配当成長性がありながらも、魅力的なバリュエーションで取引されている銘柄に焦点を当てます。また、M&A（企業の合併・買収）の買い手やターゲットになり得るMLPにも注目します。

円に対する米ドルのコール・オプションを売却することで、オプションのプレミアム収入の確保をめざします。また、オプションのカバー率は、保有する米ドル建資産の評価額の50%程度を維持する方針です。

○ダイワ・マネー・マザーファンド

資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行ないます。

1 万口当りの費用の明細

項 目	第 5 期～第10期		項 目 の 概 要
	(2015. 4. 21～2015. 10. 20)		
	金 額	比 率	
信託報酬	53円	0. 635%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は8, 312円です。
（投信会社）	(18)	(0. 216)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
（販売会社）	(34)	(0. 406)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託銀行）	(1)	(0. 013)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	1	0. 010	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数
（投資信託受益証券）	(1)	(0. 010)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	0	0. 000	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数
（投資信託受益証券）	(0)	(0. 000)	有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	0	0. 004	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（監査費用）	(0)	(0. 004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	54	0. 649	

(注 1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注 2) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注 3) 比率欄は 1 万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

(2015年4月21日から2015年10月20日まで)

決算期	第5期～第10期			
	買付		売付	
	□数	金額	□数	金額
外国 (邦貨建)	千口 22,654,968	千円 1,762,797	千口 22,472,304	千円 1,713,285

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。
(注2) 金額は受渡し代金。
(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
投資信託受益証券

(2015年4月21日から2015年10月20日まで)

第5期～				第10期			
買付		平均単価		売付		平均単価	
銘柄	□数	金額	円	銘柄	□数	金額	円
AMERICAN MLP FUND CURRENCY ALPHA CLASS (ケイマン諸島)	千口 2,927,242	千円 255,000	87	AMERICAN MLP FUND CURRENCY ALPHA CLASS (ケイマン諸島)	千口 22,472,304	千円 1,713,285	76

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

(1) 当ファンドにおける当作成期間中の利害関係人との取引状況

当作成期間（第5期～第10期）中における利害関係人との取引はありません。

(3) 当作成期間中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当作成期間（第5期～第10期）中における売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

(2) ダイワ・マネー・マザーファンドにおける当作成期間中の利害関係人との取引状況

(2015年4月21日から2015年10月20日まで)

区分	第5期～			第10期		
	買付額等 A	うち利害 関係人との 取引状況 B	B/A	売付額等 C	うち利害 関係人との 取引状況 D	D/C
公社債	百万円 50,273	百万円 7,099	% 14.1	百万円 —	百万円 —	% —
コール・ローン	1,437,557	—	—	—	—	—

(注) 平均保有割合0.1%
※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当作成期間における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券です。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第 10 期 末		
	□ 数	評価額	比 率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) AMERICAN MLP FUND CURRENCY ALPHA CLASS	208,452.364	13,343,244	99.2

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2015年10月20日現在

項 目	第 10 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	13,343,244	97.9
ダイワ・マネー・マザーファンド	13,702	0.1
コール・ローン等、その他	272,811	2.0
投資信託財産総額	13,629,758	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第 10 期 末		
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネー・マザーファンド	13,437	13,437	13,702

(注) 単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2015年5月20日)、(2015年6月22日)、(2015年7月21日)、(2015年8月20日)、(2015年9月24日)、(2015年10月20日) 現在

項 目	第5期末	第6期末	第7期末	第8期末	第9期末	第10期末
(A) 資産	19,899,312,339円	19,146,972,959円	17,641,130,877円	15,843,665,451円	14,014,793,898円	13,659,728,115円
コール・ローン等	364,388,657	358,711,700	349,030,544	319,880,278	317,870,675	242,841,104
投資信託受益証券 (評価額)	19,521,220,995	18,674,658,572	17,278,397,646	15,510,082,486	13,683,220,536	13,343,244,324
ダイワ・マネー・マザーファンド (評価額)	13,702,687	13,702,687	13,702,687	13,702,687	13,702,687	13,702,687
未収入金	—	99,900,000	—	—	—	59,940,000
(B) 負債	164,848,586	229,521,099	165,433,509	160,288,200	198,010,097	213,122,149
未払金	—	49,950,000	—	—	—	29,970,000
未払収益分配金	144,339,277	144,124,812	142,419,551	139,496,156	138,562,362	136,965,200
未払解約金	277,990	12,821,161	4,285,295	3,244,773	41,140,792	33,559,190
未払信託報酬	20,103,014	22,354,150	18,340,637	17,050,426	17,697,153	11,941,760
その他未払費用	128,305	270,976	388,026	496,845	609,790	685,999
(C) 純資産総額 (A - B)	19,734,463,753	18,917,451,860	17,475,697,368	15,683,377,251	13,816,783,801	13,446,605,966
元本	20,619,896,818	20,589,258,953	20,345,650,192	19,928,022,317	19,794,623,229	19,566,457,280
次期繰越損益金	△ 885,433,065	△ 1,671,807,093	△ 2,869,952,824	△ 4,244,645,066	△ 5,977,839,428	△ 6,119,851,314
(D) 受益権総口数	20,619,896,818口	20,589,258,953口	20,345,650,192口	19,928,022,317口	19,794,623,229口	19,566,457,280口
1万口当り基準価額 (C/D)	9,571円	9,188円	8,589円	7,870円	6,980円	6,872円

*第4期末における元本額は20,392,436,724円、当作成期間（第5期～第10期）中における追加設定元本額は801,279,767円、同解約元本額は1,627,259,211円です。

*第10期末の計算口数当りの純資産額は6,872円です。

*第10期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は6,119,851,314円です。

■損益の状況

第5期 自 2015年4月21日 至 2015年5月20日 第7期 自 2015年6月23日 至 2015年7月21日 第9期 自 2015年8月21日 至 2015年9月24日
 第6期 自 2015年5月21日 至 2015年6月22日 第8期 自 2015年7月22日 至 2015年8月20日 第10期 自 2015年9月25日 至 2015年10月20日

項 目	第5期	第6期	第7期	第8期	第9期	第10期
(A) 配当等収益	250,413,728円	252,723,943円	251,869,251円	248,486,848円	248,613,686円	247,285,615円
受取配当金	250,401,673	252,711,867	251,858,562	248,477,344	248,604,654	247,278,947
受取利息	12,055	12,076	10,689	9,504	9,032	6,668
(B) 有価証券売買損益	642,249,072	△ 872,765,073	△ 1,308,411,143	△ 1,525,138,919	△ 1,851,362,300	△ 308,805,668
売買益	643,107,624	3,616,694	10,733,840	23,827,790	14,971,510	10,892,778
売買損	△ 858,552	△ 876,381,767	△ 1,319,144,983	△ 1,548,966,709	△ 1,866,333,810	△ 319,698,446
(C) 信託報酬等	△ 20,231,319	△ 22,496,821	△ 18,457,687	△ 17,159,245	△ 17,810,098	△ 12,017,969
(D) 当期損益金 (A + B + C)	872,431,481	△ 642,537,951	△ 1,074,999,579	△ 1,293,811,316	△ 1,620,558,712	△ 73,538,022
(E) 前期繰越損益金	△ 1,488,571,957	△ 754,560,259	△ 1,516,582,023	△ 2,671,146,419	△ 4,058,094,839	△ 5,720,267,928
(F) 追加信託差損益金	△ 124,953,312	△ 130,584,071	△ 135,951,671	△ 140,191,175	△ 160,623,515	△ 189,080,164
(配当等相当額)	(60,501,919)	(65,393,048)	(68,034,806)	(68,863,612)	(73,273,019)	(78,256,857)
(売買損益相当額)	(△ 185,455,231)	(△ 195,977,119)	(△ 203,986,477)	(△ 209,054,787)	(△ 233,896,534)	(△ 267,337,021)
(G) 合計 (D + E + F)	△ 741,093,788	△ 1,527,682,281	△ 2,727,533,273	△ 4,105,148,910	△ 5,839,277,066	△ 5,982,886,114
(H) 収益分配金	△ 144,339,277	△ 144,124,812	△ 142,419,551	△ 139,496,156	△ 138,562,362	△ 136,965,200
次期繰越損益金 (G + H)	△ 885,433,065	△ 1,671,807,093	△ 2,869,952,824	△ 4,244,645,066	△ 5,977,839,428	△ 6,119,851,314
追加信託差損益金	△ 124,953,312	△ 130,584,071	△ 135,951,671	△ 140,191,175	△ 160,623,515	△ 189,080,164
(配当等相当額)	(60,501,919)	(65,393,048)	(68,034,806)	(68,863,612)	(73,273,019)	(78,256,857)
(売買損益相当額)	(△ 185,455,231)	(△ 195,977,119)	(△ 203,986,477)	(△ 209,054,787)	(△ 233,896,534)	(△ 267,337,021)
分配準備積立金	733,464,603	813,858,059	891,838,424	963,166,749	1,044,529,448	1,125,424,431
繰越損益金	△ 1,493,944,356	△ 2,355,081,081	△ 3,625,839,577	△ 5,067,620,640	△ 6,861,745,361	△ 7,056,195,581

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程（総額）」の表を参照。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第5期	第6期	第7期	第8期	第9期	第10期
(a) 経費控除後の配当等収益	244,739,159円	230,227,477円	233,411,838円	231,327,860円	230,803,851円	235,267,999円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	60,501,919	65,393,048	68,034,806	68,863,612	73,273,019	78,256,857
(d) 分配準備積立金	633,064,721	727,755,394	800,846,137	871,335,045	952,287,959	1,027,121,632
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	938,305,799	1,023,375,919	1,102,292,781	1,171,526,517	1,256,364,829	1,340,646,488
(f) 分配金	144,339,277	144,124,812	142,419,551	139,496,156	138,562,362	136,965,200
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	793,966,522	879,251,107	959,873,230	1,032,030,361	1,117,802,467	1,203,681,288
(h) 受益権総口数	20,619,896,818口	20,589,258,953口	20,345,650,192口	19,928,022,317口	19,794,623,229口	19,566,457,280口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1万口当り分配金	第5期	第6期	第7期	第8期	第9期	第10期
	70円	70円	70円	70円	70円	70円
(単 価)	(9,571円)	(9,188円)	(8,589円)	(7,870円)	(6,980円)	(6,872円)

- 〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、上記()内の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

《訂正のお知らせ》

作成対象期間の末日が2015年4月20日の交付運用報告書および運用報告書（全体版）につきまして、「1万口当りの費用の明細」の表の「項目の概要」における次の記載にて下線部が不要でした。お詫び申し上げますとともに、下線部を除いてお読み替えますようお願い申し上げます。

〔期中の平均基準価額（月末値の平均値）は9,356円です。〕

CBREクラリオン・トラストーダイワ／クラリオン・アメリカンMLPファンド
ノンヘッジクラス／円ヘッジクラス／通貨αクラス

当ファンド（ダイワ米国MLPファンド（毎月分配型））はケイマン籍の外国投資信託「CBREクラリオン・トラストーダイワ／クラリオン・アメリカンMLPファンド ノンヘッジクラス／円ヘッジクラス／通貨αクラス」に投資しておりますが、以下の内容は一部の項目を除きすべてのクラスを合算しております。

（注）2015年10月20日時点で入手しうる直近の状況を掲載しております。

（米ドル建て）

貸借対照表
2015年3月31日現在

資産	
投資 - 公正価値（取得価額：391,070,537ドル）	\$ 359,601,430
現金	159
為替先渡契約による評価益	579
売却した投資に係る未収金	126,721
未収法人税等	3,047,314
その他の資産	12,588
資産合計	<u>362,788,791</u>
負債	
売建オプション - 公正価値（受取プレミアム：750,072ドル）	481,786
為替先渡契約による評価損	192,268
未払い：	
買付投資	380,426
運用報酬	143,641
専門家報酬	106,800
会計および管理報酬	70,630
州法人税	43,100
保管報酬	25,370
源泉徴収税	15,783
為替運用	11,627
名義書換代理報酬	9,929
計算代理人報酬	2,896
負債合計	<u>1,484,256</u>
純資産	<u>\$ 361,304,535</u>
純資産の内訳：	
払込資本金	\$ 437,127,287
（受益者への分配金）	(14,649,182)
累積欠損金	(61,173,570)
純資産	<u>\$ 361,304,535</u>
クラス別純資産	
通貨αクラス	\$ 152,078,360
円ヘッジクラス	37,360,135
ノンヘッジクラス	171,866,040
	<u>\$ 361,304,535</u>

ダイワ米国MLPファンド（毎月分配型）

発行済受益証券口数		
通貨αクラス		206,779,912
円ヘッジクラス		53,709,960
ノンヘッジクラス		218,793,876
1口当りの純資産価額		
通貨αクラス	\$	0.735
円ヘッジクラス	\$	0.696
ノンヘッジクラス	\$	0.786

損益計算書

2014年10月21日（運用開始日）～2015年3月31日

投資収入		
配当収入（31,755ドルの源泉徴収税控除後）	\$	74,096
マスター・リミテッド・パートナーシップからの分配金 （元本払戻金（特別分配金））		9,632,411 (8,847,274)
受取利息		2,034
投資収入合計		<u>861,267</u>
費用		
運用報酬		775,919
専門家報酬		174,729
会計および管理報酬		125,168
為替運用		64,761
保管報酬		49,850
州法人税		43,100
名義書換代理報酬		18,096
ファンド設立費用		13,984
計算代理人報酬		5,197
受託会社報酬		4,317
費用合計		<u>1,275,121</u>
税引前投資純損失		(413,854)
当期法人税控除額		—
税引後投資純損失		<u>(413,854)</u>
実現益および評価益（実現損および評価損）：		
実現益（損）：		
有価証券への投資		(19,993,008)
為替取引および為替先渡契約		(4,410,026)
売建オプション		(4,963,488)
純実現損失		<u>(29,366,522)</u>
評価益（損）の純変動：		
有価証券への投資		(31,469,107)
為替換算および為替先渡契約		(192,373)
売建オプション		268,286
評価損の純変動		<u>(31,393,194)</u>
実現損および評価損		<u>(60,759,716)</u>
運用の結果生じた純資産の純減少	\$	<u>(61,173,570)</u>

投資明細表
2015年3月31日現在

出資口数	有価証券の明細	公正価値
	マスター・リミテッド・パートナーシップ (97.8%)	
	集積・処理 (22.1%)	
428, 100	Cone Midstream Partners LP	\$ 7, 453, 221
129, 352	DCP Midstream Partners LP	4, 779, 556
539, 430	EnLink Midstream Partners LP	13, 345, 498
120, 400	MarkWest Energy Partners LP	7, 958, 440
228, 350	Martin Midstream Partners LP	8, 092, 724
226, 600	QEP Midstream Partners LP	3, 553, 088
403, 400	Regency Energy Partners LP	9, 225, 758
348, 104	Summit Midstream Partners LP	11, 198, 506
145, 900	Targa Resources Partners LP	6, 034, 424
126, 200	Western Gas Partners LP	8, 310, 270
		<hr/>
		79, 951, 485
	ジェネラル・パートナー (5.0%)	
203, 900	Energy Transfer Equity LP	12, 919, 104
144, 197	NuStar GP Holdings LLC	5, 104, 574
		<hr/>
		18, 023, 678
	海上輸送 (1.8%)	
237, 277	Golar LNG Partners LP (バミューダ諸島)	6, 379, 034
		<hr/>
		6, 379, 034
	天然ガスパイプライン・貯蔵 (7.5%)	
425, 300	Boardwalk Pipeline Partners LP	6, 847, 330
135, 737	Columbia Pipeline Partners LP	3, 758, 558
124, 047	EQT Midstream Partners LP	9, 633, 490
135, 700	Tallgrass Energy Partners LP	6, 862, 349
		<hr/>
		27, 101, 727
	原油&精製品のパイプライン・貯蔵 (37.0%)	
186, 500	Buckeye Partners LP	14, 084, 480
210, 400	Delek Logistics Partners LP	9, 158, 712
310, 405	Genesis Energy LP	14, 589, 035
44, 600	Magellan Midstream Partners LP	3, 421, 266
349, 491	NGL Energy Partners LP	9, 167, 149
276, 500	NuStar Energy LP	16, 783, 550
70, 200	Plains All American Pipeline LP	3, 423, 654
271, 161	Plains GP Holdings LP Class A	7, 692, 838
192, 461	Rose Rock Midstream LP	9, 156, 148
428, 627	Sunoco Logistics Partners LP	17, 719, 440
238, 078	Tesoro Logistics LP	12, 808, 596
127, 400	Valero Energy Partners LP	6, 166, 160
381, 621	VTTI Energy Partners LP (英国)	9, 471, 833
		<hr/>
		133, 642, 861
	油田サービス (1.4%)	
444, 550	Seadrill Partners LLC (英国)	5, 223, 463
		<hr/>
		5, 223, 463
	パイプライン・貯蔵・処理 (21.0%)	
409, 900	Energy Transfer Partners LP	22, 851, 925

ダイワ米国MLPファンド（毎月分配型）

934,721	Enterprise Products Partners LP	30,780,362
451,907	Williams Partners LP	22,242,863
		<u>75,875,150</u>
	卸売配送（2.0%）	
225,551	CrossAmerica Partners LP	7,339,429
		<u>7,339,429</u>
	マスター・リミテッド・パートナーシップ合計（取得価額：385,005,934ドル）	\$ 353,536,827

元本金額		純資産に 占める 割合（%）	公正価値
	短期投資（1.7%）		
	定期預金（1.7%）		
	Wells Fargo, Grand Cayman（グランドケイマン）		
U S D	6,064,603	0.03%、満期：2015年4月1日	\$ 6,064,603
			<u>6,064,603</u>
	短期投資合計（取得価額：6,064,603ドル）		\$ 6,064,603
	投資合計（取得価額：391,070,537ドル）	99.5%	\$ 359,601,430
	負債を上回る現金とその他の資産	0.5	1,703,105
	純資産	100.0%	<u>\$ 361,304,535</u>

2015年3月31日現在未決済の為替先渡契約（通貨αクラス）

買い	カウンターパーティ	契約金額	決済日	売り	契約金額	評価益	評価損失	純評価損益
U S D	Morgan Stanley	107,048	2015年4月1日	J P Y	12,768,250	\$ 579	\$ -	\$ 579
						<u>\$ 579</u>	<u>\$ -</u>	<u>\$ 579</u>

2015年3月31日現在未決済の為替先渡契約（円ヘッジクラス）

買い	カウンターパーティ	契約金額	決済日	売り	契約金額	評価益	評価損失	純評価損益
J P Y	Brown Brothers Harriman	4,438,311,029	2015年4月28日	U S D	37,216,675	\$ -	\$ (192,268)	\$ (192,268)
						<u>\$ -</u>	<u>\$ (192,268)</u>	<u>\$ (192,268)</u>

2015年3月31日現在未決済の売建オプション（通貨αクラス）

銘柄	カウンターパーティ	行使価格	満期日	契約枚数	受取プレミアム	公正価値
Call OTC Japanese yen versus US dollar	Nomura Securities Co. Ltd.	¥ 119.93	2015年4月3日	13,500,000	\$ (136,343)	\$ (55,611)
Call OTC Japanese yen versus US dollar	Nomura Securities Co. Ltd.	121.52	2015年4月9日	12,500,000	(137,910)	(22,649)
Call OTC Japanese yen versus US dollar	Citibank N.A. Tokyo	121.35	2015年4月14日	12,000,000	(119,718)	(37,270)
Call OTC Japanese yen versus US dollar	Royal Bank of Scotland Plc.	120.60	2015年4月17日	11,000,000	(106,195)	(62,220)
Call OTC Japanese yen versus US dollar	Citibank N.A. Tokyo	119.70	2015年4月22日	13,500,000	(122,372)	(136,163)
Call OTC Japanese yen versus US dollar	Nomura Securities Co. Ltd.	119.18	2015年4月24日	13,000,000	(127,534)	(167,873)
					<u>\$ (750,072)</u>	<u>\$ (481,786)</u>

通貨の略称

J P Y	日本円
U S D	米ドル

<補足情報>

当ファンド（ダイワ米国MLPファンド（毎月分配型））が投資対象としている「ダイワ・マネー・マザーファンド」の決算日（2014年12月9日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの第10期の決算日（2015年10月20日）現在におけるダイワ・マネー・マザーファンドの組入資産の内容等を42ページに併せて掲載いたしました。

■ダイワ・マネー・マザーファンドの主要な売買銘柄

公 社 債

（2015年4月21日から2015年10月20日まで）

買 付		売 付	
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
	千円		千円
548 国庫短期証券 2015/11/2	6,199,997		
563 国庫短期証券 2016/1/18	4,999,995		
555 国庫短期証券 2015/12/7	4,500,000		
550 国庫短期証券 2015/11/9	4,009,999		
547 国庫短期証券 2015/10/26	2,600,000		
541 国庫短期証券 2015/9/28	2,499,997		
342 2年国債 0.1% 2016/7/15	2,095,633		
532 国庫短期証券 2015/8/17	2,000,000		
542 国庫短期証券 2015/10/5	2,000,000		
520 国庫短期証券 2015/6/22	1,999,998		

（注1）金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

（注2）単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

下記は、2015年10月20日現在におけるダイワ・マネー・マザーファンド（55,229,770千円）の内容です。

(1) 国内（邦貨建）公社債（種類別）

区 分	2015年10月20日現在						
	額 面 金 額	評 価 額	組入比率	うちBB格以下組入率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
					5年以上	2年以上	2年未満
国債証券	千円 30,574,000	千円 30,579,071	%	%	%	%	%
			54.3	—	—	—	54.3

（注1）組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

（注2）額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(2) 国内（邦貨建）公社債（銘柄別）

区 分	2015年10月20日現在						
	銘 柄	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日		
国債証券	547 国庫短期証券	—	千円 2,600,000	千円 2,600,000	2015/10/26		
	548 国庫短期証券	—	6,200,000	6,199,998	2015/11/02		
	550 国庫短期証券	—	4,010,000	4,009,999	2015/11/09		
	551 国庫短期証券	—	1,220,000	1,220,000	2015/11/16		
	553 国庫短期証券	—	700,000	700,000	2015/11/24		
	555 国庫短期証券	—	4,500,000	4,500,000	2015/12/07		
	557 国庫短期証券	—	2,000,000	1,999,998	2015/12/14		
	559 国庫短期証券	—	1,000,000	1,000,000	2015/12/21		
	563 国庫短期証券	—	5,000,000	4,999,995	2016/01/18		
	342 2年国債	0.1000	2,094,000	2,095,591	2016/07/15		
	100 5年国債	0.3000	1,250,000	1,253,487	2016/09/20		
	合 計	銘 柄 数 金 額	11銘柄	30,574,000	30,579,071		

（注）単位未満は切捨て。

ダイワ・マネー・マザーファンド

運用報告書 第10期 (決算日 2014年12月9日)

(計算期間 2013年12月10日～2014年12月9日)

ダイワ・マネー・マザーファンドの第10期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	主としてわが国の公社債への投資により、利息収入の確保をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	本邦通貨表示の公社債
運用方法	①わが国の公社債を中心に安定運用を行ないます。 ②邦貨建資産の組入れにあたっては、取得時に第二位（A-2格相当）以上の短期格付であり、かつ残存期間が1年未満の短期債、コマーシャル・ペーパーに投資することを基本とします。
株式組入制限	純資産総額の30%以下

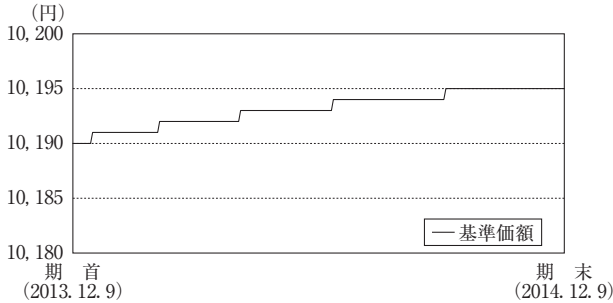
大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当期中の基準価額の推移



年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 組入比率
	円	騰 落 率 %	
(期首)2013年12月9日	10,190	—	63.2
12月末	10,191	0.0	60.2
2014年1月末	10,191	0.0	89.9
2月末	10,192	0.0	72.7
3月末	10,192	0.0	72.7
4月末	10,193	0.0	77.5
5月末	10,193	0.0	70.4
6月末	10,194	0.0	66.7
7月末	10,194	0.0	69.9
8月末	10,194	0.0	65.1
9月末	10,195	0.0	58.8
10月末	10,195	0.0	60.7
11月末	10,195	0.0	63.8
(期末)2014年12月9日	10,195	0.0	60.0

(注1) 騰落率は期首比。
 (注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)および債券先物を除きます。
 (注3) 当ファンドは、利息収入の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,190円 期末：10,195円 騰落率：0.0%

【基準価額の主な変動要因】

利息収入により、基準価額は値上がりしました。

◆投資環境について

期を通じて、日銀は金融市場調節の操作目標をマネタリーベースとする量的・質的金融緩和政策を維持しました。また、2014年10月末には追加金融緩和を実施し、長期国債を中心とする資産買い入れを一層拡大しました。このような日銀の金融政策を背景に、短期金融市場ではおおむね低位での金利水準が続き、無担保コール翌日物金利は0.06%台を中心に推移しました。国庫短期証券(3カ月物)の利回りは0.06%程度で始まりましたが、日銀の買い入れによる需給ひっ迫等を背景に、△0.01%程度まで低下して期末を迎えました。

◆前期における「今後の運用方針」

資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行なっております。

◆ポートフォリオについて

短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産による安定運用を行ないました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークや参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

引続き、資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行なっております。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用	—
合 計	—

(注) 費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

■売買および取引の状況

公 社 債

(2013年12月10日から2014年12月9日まで)

国 内	国 債 証 券	買 付 額	売 付 額
		千円	千円
		41,597,114	(35,000,000)

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。

(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 単位未満は切捨て。

ダイワ・マネー・マザーファンド

■主要な売買銘柄 公 社 債

(2013年12月10日から2014年12月9日まで)

当 期		期 末	
買 付	金 額	売 付	金 額
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
	千円		千円
490 国庫短期証券 2015/2/9	11,999,832		
473 国庫短期証券 2014/11/17	1,499,994		
479 国庫短期証券 2014/12/15	1,499,985		
463 国庫短期証券 2014/10/6	1,499,868		
461 国庫短期証券 2014/9/22	1,499,865		
459 国庫短期証券 2014/9/16	1,499,857		
465 国庫短期証券 2014/10/14	1,399,910		
439 国庫短期証券 2014/6/23	1,399,867		
444 国庫短期証券 2014/7/14	1,399,830		
422 国庫短期証券 2014/4/14	1,399,778		

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子は含まれておりません)。
(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1) 国内(邦貨建) 公社債(種類別)

区 分	当 期		期 末			
	額面金額	評価額	組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率	
	千円	千円	%	%	%	
国債証券	15,400,000	15,399,872	60.0	—	60.0	
				5年以上	2年以上	2年未満

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。
(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(2) 国内(邦貨建) 公社債(銘柄別)

区 分	当 期		期 末		償還年月日
	銘 柄	年 率	額面金額	評価額	
		%	千円	千円	
国債証券	479 国庫短期証券	—	1,500,000	1,499,998	2014/12/15
	482 国庫短期証券	—	1,000,000	999,997	2015/01/08
	490 国庫短期証券	—	12,000,000	11,999,889	2015/02/09
	493 国庫短期証券	—	900,000	899,986	2015/02/23
合計	銘柄数 金額	4銘柄	15,400,000	15,399,872	

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2014年12月9日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公 社 債	15,399,872	60.0
コ ー ル ・ ロ ー ン 等、その他	10,253,640	40.0
投 資 信 託 財 産 総 額	25,653,512	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2014年12月9日現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	25,653,512,783円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	10,253,640,160
公 社 債 (評価額)	15,399,872,623
(B) 負 債	—
(C) 純 資 産 総 額 (A-B)	25,653,512,783
元 次 期 繰 越 損 益 本 金	25,162,158,471
491,354,312	
(D) 受 益 権 総 口 数	25,162,158,471口
1 万 口 当 り 基 準 価 額 (C/D)	10,195円

* 期首における元本額は13,660,921,100円、当期中における追加設定元本額は25,556,652,335円、同解約元本額は14,055,414,964円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ／R I C I[®]コモディティ・ファンド8,952,508円、U S 債 券 N B 戦 略 フ ァ ン ド (為替ヘッジあり/年1回決算型) 740,564円、U S 債 券 N B 戦 略 フ ァ ン ド (為替ヘッジなし/年1回決算型) 1,623,350円、N B ス ト ラ テ ッ ク ・ イ ン カ ム ・ フ ァ ン ド <ラップ>米ドルコース981円、N B ス ト ラ テ ッ ク ・ イ ン カ ム ・ フ ァ ン ド <ラップ>円コース981円、N B ス ト ラ テ ッ ク ・ イ ン カ ム ・ フ ァ ン ド <ラップ>世界通貨分散コース981円、ダイワファンドラップコモディティセレクト23,865,228円、ダイワ米国株ストラテジー a (通貨選択型) トリプルリターンズー 日本円・コース (毎月分配型) 132,757円、ダイワ米国株ストラテジー a (通貨選択型) トリプルリターンズー 豪ドル・コース (毎月分配型) 643,132円、ダイワ米国株ストラテジー a (通貨選択型) トリプルリターンズー ブラジル・レアル・コース (毎月分配型) 4,401,613円、ダイワ米国株ストラテジー a (通貨選択型) トリプルリターンズー 米ドル・コース (毎月分配型) 12,784円、ダイワ/フィデリティ北米株式ファンドーパラダイムシフトー 49,096,623円、ダイワ F E グローバル・バリュー・ファンド (ダイワ S M A 専用) 13,896,435円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) ブラジル・レアル・コース (毎月分配型) 98,290,744円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 日本円・コース (毎月分配型) 23,590,527円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 米ドル・コース (毎月分配型) 2,163,360円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 豪ドル・コース (毎月分配型) 13,761,552円、ダイワ/U B S エマージング C B フ ァ ン ド 2,498,575円、ダイワ/アムンディ食糧増産関連ファンド14,780,160円、ダイワ日本リート・ファン ド・マネー・ポートフォリオ134,197,158円、ダイワ新興国ハイインカム・ブラス II - 金積立型 - 1,972,537円、ダイワ新興国ハイインカム債券ファンド (償還 条項付き) 為替ヘッジあり4,926,716円、ダイワ新興国ソブリン債券ファンド (資 産成長コース) 49,082,149円、ダイワ新興国ソブリン債券ファンド (通貨 a コー ス) 196,290,094円、ダイワ・インフラビジネス・ファンドーインフラ革命 - (為替ヘッジあり) 9,813,543円、ダイワ・インフラビジネス・ファンドーイン フラ革命 - (為替ヘッジなし) 29,440,629円、ダイワ米国 M L P フ ァ ン ド (毎 月 分 配 型) 米 ド ル コー ス 13,732,222円、ダイワ米国 M L P フ ァ ン ド (毎 月 分 配 型) 日 本 円 コー ス 3,874,449円、ダイワ米国 M L P フ ァ ン ド (毎 月 分 配 型) 通 貨 a コー ス 13,437,960円、ダイワ英国高配当株ツイン a (毎月分配型) 98,107円、ダイワ 英国高配当株ファンド98,107円、ダイワ英国高配当株ファンド・マネー・ポ ー ト フ ェ リ オ 74,252,220円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 南アフリカ ・ ラ ン ド ・ コー ス (毎 月 分 配 型) 98,252円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) トルコ・リラ・コース (毎月分配型) 2,554,212円、ダイワ米国 高金利社債ファンド (通貨選択型) 通貨セレクト・コース (毎月分配型) 1,178,976円、ダイワ・オーストラリア高配当株 a (毎月分配型) 株式 a コー ス 98,203円、ダイワ・オーストラリア高配当株 a (毎月分配型) 通貨 a コー ス 98,203円、ダイワ・オーストラリア高配当株 a (毎月分配型) 株式&通貨ツイン a コー ス 982,029円、プルベア・マネー・ポートフォリオ III 24,367,381,676 円、ダイワ米国株ストラテジー a (通貨選択型) トリプルリターンズー 通貨 セレクト・コース (毎月分配型) 98,174円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,195円です。

■損益の状況

当期 自2013年12月10日 至2014年12月9日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	6,254,653円
受 取 利 息	6,254,653
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	1,634
売 買 益	1,634
(C) 当 期 損 益 金 (A + B)	6,256,287
(D) 前 期 繰 越 損 益 金	259,898,412
(E) 解 約 差 損 益 金	△ 271,101,052
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	496,300,665
(G) 合 計 (C + D + E + F)	491,354,312
次 期 繰 越 損 益 金 (G)	491,354,312

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。